

広報部会員による 就業現場レポート (第18回)

今の時代に必要な『リサイクル』を通じてオリジナルの1台を作る

リサイクル自転車

街で「リサイクル自転車」のステッカーが貼られた自転車を見かけたことはありませんか？その自転車、シルバー人材センターの会員さんが再生した自転車かもしれません。世界で1台？のオリジナル自転車を作る会員さんたち取材しました。

リサイクル自転車メモ (令和6年9月現在)

就業会員 6名 就業場所 シルバー人材センター塩浜作業所
就業時間 平日9:00~16:00 配分金 月2~3万円程度



取材当日に就業の会員の皆さん

・リサイクル自転車ができるまで・

〈江東区条例や江東区との協定に基づく〉
区から保管期限の切れた自転車を譲り受ける ⇒ シルバー人材センターでリサイクル自転車用に整備
⇒ 区内自転車商組合加盟店に卸す(主に月1回販売) ⇒ 加盟店店舗でリサイクル自転車として販売

Q.1 以前はどのような仕事をされていましたか？

A. 長年、車や産業機械をいじってきた人もいれば、事務屋さんだった人もいます。でもやはり、機械をいじるのが好きな人や器用な人が多いですね。



Q.2 この仕事の難しさは？

A. 最近、区から譲り受ける自転車が少なく、状態もあまり良くないものが多いです。自転車が少ないことは「放置自転車が減っている」とも言えるので、それ自体は良いことですが、私たちにとっては、販売するための自転車やその部品が少ないので、厳しい状況です。
また、季節によって売れる台数や自転車の種類に変化があったりします。売れ残ってしまった自転車は、残念ですが、バラしてまた新しい自転車の部品にしったりしています。



Q.3 この仕事のやりがいは？

A. やっぱり買ってくれた人が喜んでくれると嬉しいですね。また、あんなに汚かったのにこんなにキレイに仕上がったという満足感もあります。「中古品」と言われないようにより丁寧に手を加え、その自転車に合う部品を組み合わせ、オリジナルの1台を作っています。



1台を作り上げるのに3日かかることもあるそうです。

時間のかかる地味な作業ですが、自分の仕事に誇りを持ち「安全な自転車に仕上げる」という責任感の強さを感じました。